

実習指導に対する病棟看護師の意識調査 ～病棟看護師へ実習指導に関する支援方法を考える～

中村祐貴 平尾園子 佐藤真弓

大阪府済生会中津病院 看護部

抄録

A病院は実習を受け入れている学校が複数あり、なおかつ実習内容も基礎看護実習から領域実習など多岐に渡っている。病棟看護師から多忙な病棟業務の中で、十分な実習指導が行えず、葛藤を感じているという意見があった。そのため、病棟看護師の実習指導に対する意識調査を行い、ラダー（Ⅰ～Ⅲ郡とⅣ郡）に分けて支援方法を検討したことを報告する。

Key word：実習指導 学生 病棟看護師の意識

背景

A病院は急性期病院であり、一般病棟でも24時間緊急入院患者を受け入れている。さらに、実習を受け入れている学校は複数あり、実習内容も基礎看護学実習から領域実習など多岐に渡っている。病棟看護師から多忙な病棟業務の中で、十分な実習指導が行えず、葛藤を感じているという意見があった。そのため、臨床実習指導者として病棟看護師の実習指導に対する意識調査を行い、ラダー（Ⅰ～Ⅲ郡とⅣ郡）に分けて支援方法を検討した。

対象および方法

2023年6月の10日間で病棟看護師24名に、実習指導に関する質問27問の5段階評価と自由記載の質問紙票を配布し、任意にて回答を得た（表1）。

倫理的配慮

自施設看護部の倫理委員会で承認を得て実施した。研究参加者が不利益を受けない権利、情報を得る権利、自己決定の権利、プライバシー、匿名性、気密性確保の権利の保証について、協力の同意を得た。データにおいて個人名、個人のプライバシーが外部に漏れることのないよう、守秘義務を遵守する。

結果

アンケート回収率は100%であり、その内訳はラダーⅠ～Ⅲ群14名（約58%）、ラダーⅣ群10名（約42%）であった。27問のアンケート結果のうち、一部抜粋し

て3つのカテゴリーに分類した。その内訳は①実習環境について②看護師の心理面について③指導に対する意欲についてである。

①実習環境についてのカテゴリーは、ラダーⅠ～Ⅲ郡とラダーⅣ郡ともに約半数以上が学生と関わる時間がない、臨床実習指導と業務との両立が負担であると回答していた（表2、表3）。

②看護師心理面についてカテゴリーは、ラダーⅠ～Ⅲ郡の方がラダーⅣ郡と比べ、学生を教えることが苦手だと感じる、実習指導に対してプレッシャーに感じるという割合が高い結果となった（表4、表5）。

③指導に対する意欲についてのカテゴリーは、両郡ともに自分以外の看護師の指導方法を知りたい、実習指導は将来の看護師育成だと思っているという意欲的な回答が多い結果となった（表6、表7）。

考察

両群ともに、実習指導を行うことに意義を感じ重要性や役割を意識しており、実習指導に十分な時間が確保できないことに葛藤があることがわかった。

ラダー別に分類すると、ラダーⅠ～Ⅲ群は、指導に対して苦手意識やプレッシャーを感じていることがわかり、ラダーⅣ群との違いが明らかになった。これらの背景として、ラダーⅠ～Ⅲ群は臨床実習指導に関して学びの機会が少なく、指導に関する知識が不十分であるため、実習指導に対して自信が持てないのではな

～実習指導に関するアンケート～

A. あなたの現在のクリニカルラダーに○をつけてください

(I ～ III ・ IV以上)

B. 実習指導に対して感じることで、最も当てはまるものに○をつけてください。

- 1 実習計画の内容（日程、目標）を把握している----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 2 どこまで学生に技術をさせて良いかを把握している----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 3 学生のレディネス（※）を把握している----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
※レディネスとは、準備性や準備ができている状態、または学習（課題）に対し、知識、経験、精神、身体などの必要な条件が整っている状態
- 4 臨床実習と業務との両立は負担ではない----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 5 実習指導は臨床実習指導者に任せている----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 6 学生に十分に回わる時間がある----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 7 臨床実習指導者と学生について情報共有する時間がある----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 8 教員と学生について情報共有する時間がある----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 9 教員に直接声をかけやすい雰囲気である----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 10 実習指導をすることにプレッシャーを感じる----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 11 学生を教えることが苦手だと感じる----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 12 実習指導において経験年数は重要である----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 13 学生に対する指導方法について理解している----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 14 自分以外の看護師の指導方法が知りたい----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 15 実習指導について困ったときに相談できる相手がいる----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 16 学生に指導が厳しいと受け取られないか不安である----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 17 自分から学生とコミュニケーションをとるようにしている----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 18 学生の困っていることを聞き出す努力をしている----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 19 自分の指導が学生に伝わっていると感じる----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 20 リフレクションの内容に悩むことがある----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 21 学生から学ぶことがある----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 22 自分の看護観を考えるきっかけになっている----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 23 実習指導にやりがいを感じる----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 24 学生が声をかけやすい雰囲気を作っている----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 25 実習指導について院内研修があれば参加したい----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 26 実習指導は将来の看護師育成だと思っている----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)
- 27 実習指導を通して自分も成長している----- (そうだ ・ まあそうだ ・ どちらともいえない ・ ややちがう ・ ちがう)

C. 実習指導をして良かったことを教えて下さい（自由記載）

D. 実習指導をして困ったことを教えて下さい（自由記載）

E. 実習指導をして不安に思ったことを教えて下さい（自由記載）

ご協力ありがとうございました。

いかと考える。そのため経験年数の短い看護師には、実習指導に関する勉強会を行うことで指導に自信を持てるように支援し、さらに自身の看護観を語ることが、学生にとって学びとなることを理解できるように支援する必要がある。

一方で、ラダーⅣ郡はラダーⅠ～Ⅲ郡と比べ、実習指導に対する苦手意識が少なく、自分以外の看護師の指導方法が知りたいという割合が高い結果であった。実習指導に対して意欲的な回答が得られているため、指導方法や指導内容について意見交換の場を設けることで、不安の軽減や、やりがいにつながるのではないかと考える。

結 論

経験年数の短い看護師には、実習指導に関する勉強会を行う。また、学生の緊張や不安を軽減させる雰囲気作りを行うことや、自身の看護観を語ることが学生

にとって臨地実習の学びになると理解できるよう支援していく。一方で、経験年数の長い看護師には、指導内容について意見交換の場を設け、実習指導に対する思いを傾聴し、承認するなど経験年数に見合った支援体制を整える必要がある。

参 考 文 献

- 1) 稲山明美, 松本啓子: 「病棟看護師が関わる臨地実習指導の現状」, 『川崎医療福祉学会誌』, 2019, 29 (1): 21-26
- 2) 佐々木仁美: 「急性期実習を受け入れている病棟看護師が実習指導に関わる支援方法の検討」, 『昭和学士会誌』, 2017, 77 (4): 415-422
- 3) 杉山由美子, 松野洋子, 米田美穂子: 「実習指導に対する研修会を行った看護職員への意識調査」『むつ病誌』, 2018, Vol.18

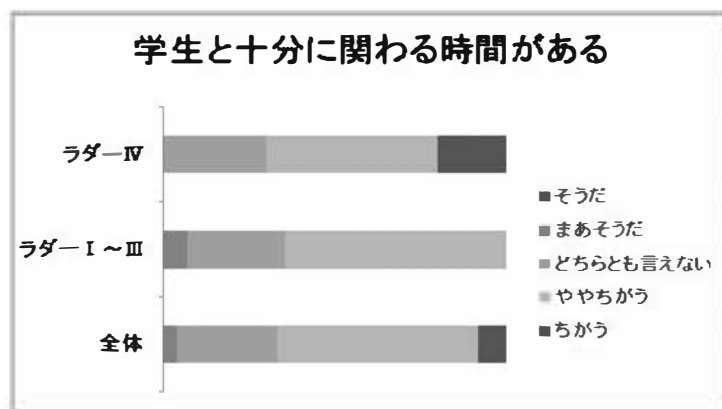


表 2 : アンケート結果

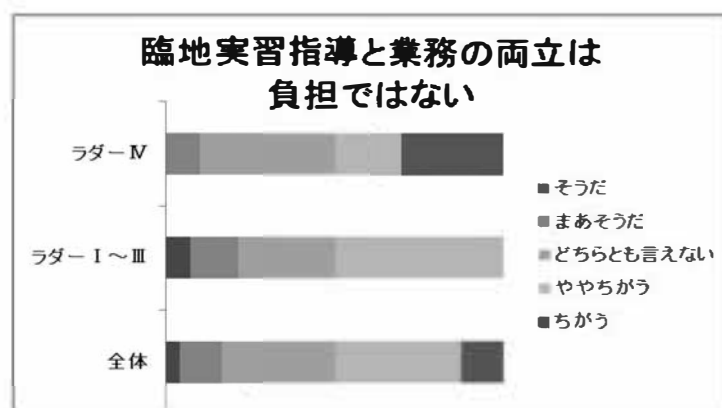


表 3 : アンケート結果

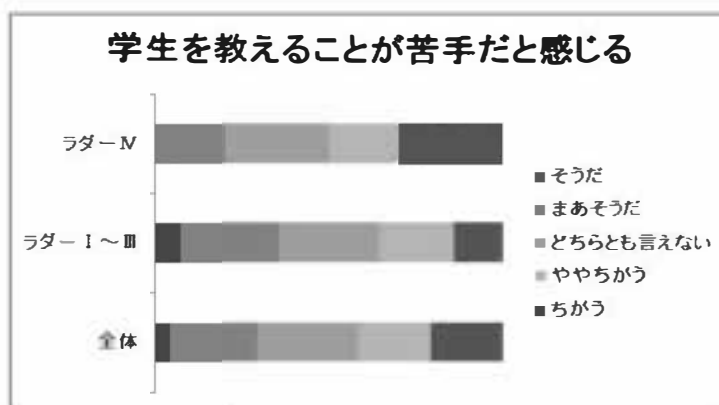


表 4：アンケート結果

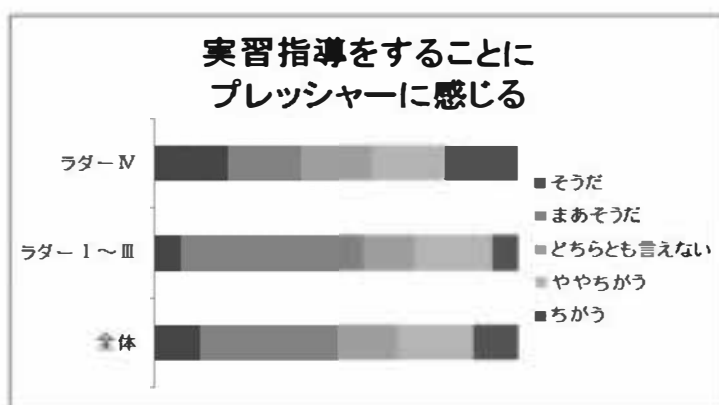


表 5：アンケート結果

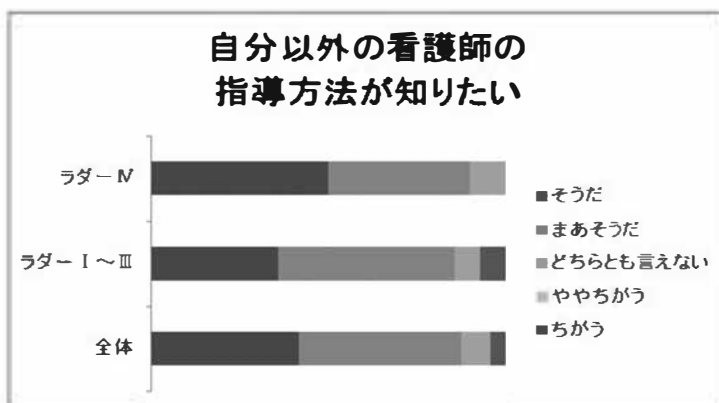


表 6：アンケート結果

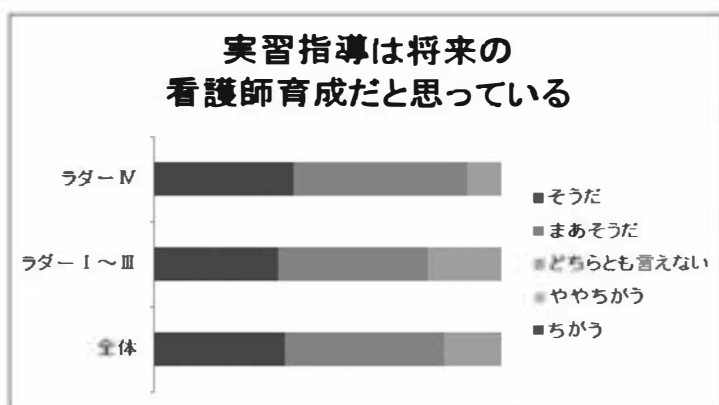


表 7：アンケート結果